

市川市市民活動団体支援金交付申請書

2015年 2月 5日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人ホームレス  
自立支援市川ガンバの会  
代表者名 副田 一朗  
所在地 市川市八幡3-28-23  
本八幡イーストビル3F  
電話 047 ( 704 ) 9915



市川市市民活動団体支援金の交付を受けたいので、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第5条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1. 事業の名称 生活困窮家庭の子どもたちを応援する学習支援
2. 事業の概要 市川市内の生活困窮家庭の子どもたちを対象に、居場所づくりと学習支援を行う。貧困の中においても高校進学を断念することなく、すべての子どもたちの均等な未来を応援することを目的とする。

3. 事業費総額 3,300,000 円

4. 交付申請額 700,000 円

5. 添付書類

- (1) 団体概要調書 (様式第2号)
- (2) 規約、会則、定款等の写し
- (3) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書 (様式第3号)
- (4) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書 (様式第4号)
- (5) 団体の事業報告書、収支決算書の写し (直近のもの) 等の市長が必要と認める書類



団体概要調書

1 団体の概要

団体名	特定非営利活動法人ホームレス自立支援市川ガンバの会		
市内事務所の所在地	〒272-0021 市川市八幡3-28-23 【専用事務所・住居と兼用・その他( )】		
	電話	047 (704) 9915	FAX 047 (704) 9915
主たる事務所の所在地	市川市八幡3-28-23 本八幡イーストビル3F		
代表者氏名及び役員氏名	【代表者氏名】 副田一朗		
	【役員氏名】 書ききれない場合は、別紙に記入の上添付してください。		
	役職	氏名	住所
連絡責任者 ※ この申請について問い合わせをしたときに対応できる方			
主な活動地域	※ 該当する□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 国府台 [国府台] <input type="checkbox"/> 国分 [北国分、中国分、堀之内、稲越町、東国分、国分] <input type="checkbox"/> 菅谷 [菅谷] <input type="checkbox"/> 大柏 [大町、大野町、南大野、柏井町、奉面町] <input type="checkbox"/> 宮久保・下貝塚 [宮久保、下貝塚] <input type="checkbox"/> 市川第一 [市川、市川南3、4丁目、真間1丁目] <input type="checkbox"/> 市川第二 [市川南1、2、5丁目、新田、平田、大洲、大和田、稲荷木、東大和田] <input type="checkbox"/> 真間 [真間2～5丁目] <input type="checkbox"/> 菅野・須和田 [菅野、須和田、東菅野] <input type="checkbox"/> 八幡 [八幡、南八幡] <input type="checkbox"/> 市川東部 [北方町、本北方、若宮、北方、中山、鬼越、高石神、鬼高] <input type="checkbox"/> 信篤・二俣 [田尻、高谷、原木、二俣、二俣新町、高谷新町] <input type="checkbox"/> 行徳 [河原、妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、伊勢宿、富浜、末広、塩焼、宝、幸] <input type="checkbox"/> 南行徳 [押切、湊、行徳駅前、入船、日之出、湊新田、香取、欠真間、福栄、南行徳、相之川、新浜、塩浜、広尾、島尻、新井] <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域		

活動の分野	主分野 (1つ)	10	その他 分野	
設立年月日	1997年11月		会員数	166名(2014年1月現在)
ホームページ	ichikawa-ganba.fc2web.com/		E-mail	ichikawa-gamba@abelia.ocn.ne.jp
会報等の発行	㊦ (年2回発行) ・ 無			
団体の活動目的	路上生活者および生活困窮者、高齢者、障がい者に関して、その尊厳の保持と命が守られるため、自立支援と人権擁護に関する事業を行い、社会福祉に貢献することを目的とする。			
※ 団体の活動目的を簡潔明瞭に記入してください。	(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。( はい ・ いいえ )			
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①路上生活者の路上での生活に関わる支援事業</li> <li>②路上生活者および生活困窮者のための相談受付ならびに緊急一時宿泊事業</li> <li>③路上生活者及び生活困窮者の居宅支援事業と居宅後の生活ならびに生きがい支援事業</li> <li>④路上生活者および生活困窮者の急迫保護支援、入院患者の支援事業</li> <li>⑤路上生活者および居宅者の葬祭ならびに墓地運営事業</li> <li>⑥路上生活者および生活困窮者のための行政交渉支援事業、又行政からの問い合わせ対応、協力事業</li> <li>⑦路上生活者および生活困窮者、居宅後の生活者への就労紹介ならびに社会的就労事業</li> <li>⑧生活困窮高齢者や障がい者のための施設及び共同住宅運営事業</li> <li>⑨介護保険法に基づく居宅介護支援及び居宅サービス、介護予防サービス事業</li> <li>⑩障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス及び地域生活支援事業</li> <li>⑪生活困窮家庭の子どもたちの教育支援事業</li> <li>⑫その他、上記の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>			
これまでの主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームレス問題を人とつながりの欠如と認識。社会的・人間的関係構築を目的とし、市内全域を巡回</li> <li>・病気・けが等急迫保護による入院時、心配する人がいるという精神的支援のための見舞支援を継続</li> <li>・行路病死者の葬儀。追悼会開催。ホームレス仲間と共に見送り、決して無縁で終わらせない。夏祭り・新年会を開催。墓地運営。</li> <li>・関係構築し、自立の意思がある場合の居宅支援実施390人。入居後の孤独な生活と関係継続のため、居宅者懇親プログラムの開催</li> <li>・健康面に問題のあるケースや次のステップを踏むまでの期間など、緊急の対応時に備えて、シェルター運営を行う。</li> <li>・経験・知識を分かち合うため、ホームレスに関する研修会を開催、また学校などに講師を派遣している。</li> <li>・年に2回ニュースレターを発行。</li> <li>・居宅者の高齢化に伴い訪問介護サービス事業を2011.9より開始。</li> <li>・昨今ホームレスの若年化が進んでおり家庭環境と低学歴の問題を認識。貧困の連鎖を防ぐために2012.10より子どもたちの学習支援を開始</li> <li>・就労支援事業</li> </ul>			
※ 団体の主たる取組を簡潔明瞭に記入してください。				

<p>団体の特徴、アピールをしたいこと等</p>	<p>ホームを無くしたホームレスの方々と新たなホームを築いていく「独りではない、独りにさせない活動、生活困窮者の自立への支援活動」をスタッフ、ボランティアの方々とともにを行っています。また居宅後は地域で安定した生活が続くようにサポートに力を入れています。昨年墓地を建設し、亡くなられた後もその方を覚えていきます。昨今、若年層の相談者が増加しており、背景に家族との孤立・また貧困家庭環境や低学歴の問題をはらんでおり、貧困の連鎖をストップするための支援の必要性を急務ととらえ学習支援を開始いたしました。ホームレスになった後の出口の支援だけではなく、ホームレスにさせない支援にも力を注いでいます。</p>
<p>市からの他の補助金等</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 (名称: 自立支援事業委託 )      <input type="checkbox"/> 無</p>

2 活動計画書 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数 (延べ)	受益対象者の範囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予算額(千円)
1%支援事業を記載 生活困窮家庭の子どもたちを応援する学習支援事業	生活困窮家庭の子どもたちを応援する居場所づくり、学習支援事業	通年	夢塾	228	360	3,300
路上生活支援	路上生活者の安否確認、相談支援	通年	市川市内	24	600	160
入院支援事業	入院セット購入費用	通年	市川市内	24	30	30
シェルター事業	シェルター運営費(家賃・水光熱費・食事代)	通年	市川市内	60	60	2,300
葬祭開催事業	夏祭り・追悼会	1回	本八幡公園	100	30	90
広報交流事業	ニュースレター発行/講演など啓発活動	年2回/通年		10人	1000人	400
居宅支援事業	自立支援住宅運営費 居宅支援に伴う経費	通年	市川市内	36人	50人	160
墓地運営事業	亡くなった方々の埋葬式	年1回	市川市内	10人	60人	100
小計				492(a)	2,190(b)	6,540(c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数 (延べ)	受益対象者の範囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予算額(千円)
研修費	伴走型生活支援士認定研修会	1回		4人		200

新事業準備研修 調査費	社会的就労事業研究 調査	12回		48人		200
生きがい支援 運営費	生きがい支援、交通 費、通信費、車両維 持費					1,200
小計				52 (d)	(e)	1,600 (f)

合計	(a) + (d) = (g) 544	(b) + (e) = (h) 2,190	(c) + (f) = (i) 8,140
----	------------------------	--------------------------	--------------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	90%	100%	80%

3 収支予算書（2015年4月1日から2016年3月31日まで）

(1) 収入の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 会費収入	600,000	
2 事業収入	1,200,000	
生活支援事業収入	500,000	
塾月謝	300,000	
その他の収入	400,000	
3 補助金収入	700,000	市川市市民活動団体支援金
市補助金	700,000	
助成金	0	未定
4 寄附金収入	5,000,000	個人寄付金
5 前年度繰越金	640,000	
収入合計	8,140,000	

(2) 支出の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 支援対象事業	3,300,000	様式第4号の支出合計と同額を記載します。
2 事業費	4,840,000	
路上生活支援事業費	160,000	路上巡回ガソリン代、コインパーキング代
小計	160,000	
入院支援事業費	30,000	
小計	30,000	
シェルター事業費	2,300,000	家賃・食料・光熱費
小計	2,300,000	
葬祭開催事業費	90,000	夏祭り追悼会開催費用
小計	90,000	
広報交流事業費	400,000	年2回ニュースレター発行費用
小計	400,000	
居宅支援事業費	160,000	居宅支援に伴うガソリン代、印鑑証明書他
小計	160,000	
墓地運営事業費	100,000	納骨式費用、管理費
小計	100,000	
研修費	200,000	伴走型支援士認定研修費用
小計	200,000	
生きがい支援費	200,000	サロン運営、
小計	200,000	
新事業研究調査費	200,000	
小計	200,000	
交通費	500,000	ガソリン代、コインパーキング代
小計	500,000	

通信費	450,000	携帯電話、メール便
小計	450,000	
車両維持費	50,000	
小計	50,000	
支出合計	8,140,000	



市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>生活困窮家庭の子どもたちを応援する学習支援</p>	
<p>目的及び効果</p>	<p>(目的)                  貧困の連鎖を防ごう！生活困窮家庭の子どもたちが、家庭環境の問題等の理由であきらめることなく将来に夢が持てるように応援します。</p> <p>(効果)                  環境に恵まれない子どもたち、不登校生、母子家庭のため家にひとりであるこどもたちの居場所づくりとなる。ひとりひとりの子どもに寄り添った学習支援をすることで、学習の遅れを取り戻し学校にもどるきっかけづくりとなる。高校進学にむけて応援し、将来正規雇用就労を目指す。また応援している第三者の存在が後にたとえ困難な状況に陥ったとしても、ひとりで抱え込まず相談者になりうると期待する。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>主な対象者</p>	<p>生活困窮者家庭の子ども (小・中・高校生)</p>
	<p>実施期間</p>	<p>平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日</p>
	<p>実施場所</p>	<p>市川市八幡 3-28-23 本八幡イーストビル 4F 「夢塾」</p>
	<p>内容</p>	<p>月～金 3時～9時まで                  生活保護世帯を含む生活困窮家庭の子どもを対象とする。                  入塾希望の場合本人と保護者との面談を行い、ボランティア講師とのコーディネートを行う。不登校、学習の遅れなど子どものレベルに合わせ、寄り添いながら勉強を教える。また母子家庭で留守番の多い子どもの居場所となっている。                  夏休みバーベキュー大会、クリスマス会などのレクリエーションを開催。郊外学習。                  児童精神科の先生をお呼びし、講師、スタッフの研修を行う。</p>
<p>事業スケジュール 別紙添付可</p>	<p>時期 (月)</p>	<p>内容</p>
	<p>通年</p>	<p>随時 塾生の受け入れ ボランティア講師募集</p>
	<p>4月</p>	<p>進級 面談</p>
	<p>5月</p>	<p>国府台児童精神科医師を迎えて講師・スタッフ研修</p>
	<p>8月</p>	<p>夏休みプログラム 塾講師と生徒、スタッフでバーベキュー 郊外学習</p>
	<p>10月</p>	<p>保護者の方と面談</p>
	<p>12月</p>	<p>クリスマス会</p>
	<p>3月</p>	<p>・高校受験生報告交流会 (対象生徒・講師・スタッフ) ・春休み小学生との読み聞かせ・ゲームなどの交流会</p>
<p>3ヶ月ごと</p>	<p>講師とのミーティング</p>	

<p>広報計画・方法</p>	<p>※ 広く市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画等を記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターネットを活用し情報発信を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> フリーペーパーへの掲載を行う。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ（市民の広場）に掲載する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 （ニューズレター掲載、福祉事務所・子育て支援課・民間団体にチラシ設置）</p>						
<p>新規事業、継続事業 の別</p>	<p>※ 申請事業について、該当する□にチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 市民活動団体支援金の交付申請をするのは初めてである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に市民活動団体支援金の交付申請をしたことがある。</p> <p>②に該当した場合、記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="480 636 1369 763"> <thead> <tr> <th>今回の交付申請額 (a)</th> <th>前回の届出総額 (b)</th> <th>差額 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700,000 円</td> <td>487,531 円</td> <td>212,469 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;改善点・変更点&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前回の申請事業からの改善点、変更点等を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との連携を強化したい。</li> <li>・不登校生、外出する機会が少ない子どもたちが多いため、夏休みに郊外学習を予定している。</li> </ul> </div>	今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a)-(b)	700,000 円	487,531 円	212,469 円
今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a)-(b)					
700,000 円	487,531 円	212,469 円					

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称: 生活困窮家庭の子どもたちを応援する学習支援

1 【収入】 (単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
会費収入	600,000	団体の本会計より充当
事業収入	300,000	月謝
補助金収入	700,000	市川市市民活動団体支援金
寄附金収入	1,200,000	
前年度繰越金	500,000	
合計	3,300,000	

2 【支出】 (単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	650,000	講師謝金 (17名)
交通費		
消耗品費	59,840	コピー用紙、封筒、事務用品、トイレットペーパー他
印刷製本費		
通信運搬費	144,000	夢塾コピー機リース代@12000×12か月
原材料費	100,000	バーベキュー大会・クリスマス会・教材費
食糧費		
備品購入費		
保険料	10,000	夢塾傷害保険
その他	120,000	電気代@10,000円×12か月
賃借料	2,216,160	塾家賃@184680×12か月
合計	3,300,000	

3 その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(  はい ・ いいえ )

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

# 特定非営利活動法人ホームレス自立支援市川ガンバの会定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、特定非営利活動法人ホームレス自立支援市川ガンバの会と称する。

ただし通称を、NPO市川ガンバの会とする。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を千葉県市川市に置く。

## 第2章 目的および事業

(目的)

第3条 本会は、路上生活者（ホームレス）および生活困窮者、高齢者、障がい者に関して、その尊厳の保持と命が守られるため、自立支援と人権擁護に関する事業を行い、社会福祉に貢献することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- (2) 人権の擁護、平和の推進を図る活動
- (3) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業の種類)

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

- ①路上生活者の路上での生活に関わる支援事業
- ②路上生活者および生活困窮者のための相談受付ならびに緊急一時宿泊事業
- ③路上生活者および生活困窮者の居宅支援事業と居宅後の生活ならびに生きがい支援事業
- ④路上生活者および生活困窮者の急迫保護支援、入院患者の支援事業
- ⑤路上生活者および居宅者の葬祭ならびに墓地運営事業
- ⑥路上生活者および生活困窮者のための行政交渉支援事業、又行政からの問い合わせ対応、協力事業
- ⑦路上生活者および生活困窮者、居宅後の生活者への就労紹介ならびに社会的就労事業
- ⑧生活困窮高齢者や障がい者のための施設及び共同住宅運営事業
- ⑨介護保険法に基づく居宅介護支援及び居宅サービス、介護予防サービス事業
- ⑩障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス及び地域生活支援事業
- ⑪生活困窮家庭の子どもたちの教育支援事業
- ⑫その他、上記の目的を達成するために必要な事業

## 第3章 会員

(種別)

第6条 本会には、次に掲げる会員を置き、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 本会の目的に賛同して入会した個人および団体。
- (2) その他の会員 別に規則において定めた会員。

## 第1号議案 総会議長及び書記選任の件

- ・今総会の議長及び書記の選任をお願い致します。

## 第2号議案 審議事項承認の件

- ・1ページの「審議内容」及び「議題プログラム」をご確認下さい。

## 第3号議案 総会議事録の署名人の選任の件

- ・議事録署名人2名の選出をお願い致します。

## 第4号議案 2013年度活動報告承認の件

### (1) 路上生活支援事業(基礎的事業)

- ・毎月第一・第三・第五金曜日の夜間パトロール、炊き出し、自立生活に関する相談および支援を実施。  
\*夜間パトロール報告; 4コースに分かれ、29回の夜間パトロールを行った(年末年始パトロールを含む)。

☆出会った平均人数 ; 39名(うち痕跡9名)/昨年度は48名

八幡コース.....平均人数7名/昨年度10名 市川コース.....平均人数6名/昨年度5名

湾岸コース.....平均人数15名/昨年度22名 江戸川コース.....平均人数11名/昨年度10名

◎路上生活者との出会い月平均 ( )は痕跡/減少傾向

	人数		人数		人数		人数
4月	45 (8)	7月	41 (9)	10月	37 (7)	1月	36 (8)
5月	41 (11)	8月	36 (6)	11月	35 (7)	2月	38 (6)
6月	44 (11)	9月	37 (8)	12月	36 (7)	3月	33 (8)

☆パトロールコースからの居宅者; 6名/昨年度9名 ★パトロールコース内での死亡者; 1名/昨年度1名

路上生活者の減少傾向は依然続いている。しかし、問題を抱えた人たちが残され、居宅支援が以前ほど進んでいない。また、依然として13名もの新人との出会いがある。

◎パトロール準備ボランティア; 平均人数; 32名/昨年度32名 ( )はパトロール参加数

	人数		人数		人数		人数
4月	38 (33)	7月	36 (33)	10月	33 (24)	1月	30 (27)
5月	36 (27)	8月	35 (28)	11月	26 (21)	2月	31 (25)
6月	31 (24)	9月	32 (27)	12月	30 (24)	3月	29 (26)

☆2013年度は、パトロール参加者数は、路上生活者数の減少に比例せず、昨年度と変わっていない。なお一般参加者と、支援を受けたアパート居宅者の参加比率は50%ずつで、16人である。

◆路上生活者に関しては、年々減少しており、現在は50名程度である。

### (2) 自立支援相談事業

- ・ガンバ事務所を訪れての相談、および電話による相談の受付

新規相談者: 合計 175名 ( )内は電話及びメール相談者/継続相談、居宅者相談は含まず

	人数		人数		人数		人数
4月	15 (5)	7月	9 (3)	10月	16 (4)	1月	16 (5)
5月	15 (3)	8月	18 (5)	11月	12 (7)	2月	9 (3)
6月	16 (2)	9月	15 (8)	12月	20 (3)	3月	14 (5)

相談者数は昨年よりも増加、来所相談が122名で、初めて100名を超えた。特に若年齢層及び家族相談は増加している。相談に対し、昨年同様、シェルター利用、職業紹介、生保申請などを持って対応。

来所相談に対する対応の実績 (合計 延べ166名)

生活保護申請(含急迫医療)	36名	第2セーフティネット利用	3名
シェルター利用	44名	他機関紹介	4名
自立支援住宅及び居宅	41名	食料・衣料支援など	29名
就労紹介	6名	家族関係回復支援	1名
その他(法的支援など)	2名		

(重複あり)

### (3) シェルター事業

今期も3室・定員6名で運営。利用は原則7日の再契約方式で運営(「自立準備ホーム」も含む)。

・利用日数; 延1335日(一人平均30日利用)

・利用者数(開始日時による); 45名(うち女性8名)

	人数		人数		人数		人数
4月	4	7月	2	10月	5	1月	4
5月	3	8月	2	11月	3	2月	3
6月	5	9月	4	12月	4	3月	6

・利用者年齢

	~10代	20代	30代	40代
人数	2	7	8	6
	50代	60代	70代	80代
人数	5	12	5	0

・利用後の状況(現利用中6名を除く)

就労	4名	居宅	25名	施設入所	3名
失踪	1名	自主退所	4名	その他	1名

なお、今期は福祉事務所からの利用依頼が7名あった。

### (4) 急迫保護支援および入院支援事業

・路上生活者の救急搬送支援、医療券発給の行政交渉支援、入院者支援

入院者: 計10名/昨年度10名(延べ人数。以前からの継続入院者は含まず( )は昨年度)

	人数		人数		人数		人数
4月	3 (1)	7月	0 (1)	10月	1 (1)	1月	0 (0)
5月	0 (0)	8月	0 (2)	11月	0 (2)	2月	1 (0)
6月	0 (0)	9月	3 (2)	12月	2 (1)	3月	0 (0)

症状: 胃穿孔、脱水、認知症、アルコール依存、口腔ガン、衰弱、喘息、脳出血、大腸癌

通院支援(受診のみ)者: 計10名/昨年度21名(延べ人数。医療券通院も含む( )は前年度)

	人数		人数		人数		人数
4月	0 (1)	7月	1 (1)	10月	0 (0)	1月	0 (3)
5月	1 (1)	8月	4 (2)	11月	0 (1)	2月	1 (3)
6月	2 (0)	9月	0 (1)	12月	0 (0)	3月	1 (8)

症状: 泥酔転倒、蜂窩織炎、口腔ガン/医療券申請支援による通院は4件、受診拒否1名

★入院者と搬送者の合計: 20名/昨年度31名

路上生活者数の減少に伴い、搬送者数も減少。しかし、他地区の路上生活者が市川市内で倒れ、搬送されるケースが続いた。また末期癌患者が入院出来ず、ターミナルケア病院の空をシェルター待機にて待ち、入院するケースがあった。さらに、認知症の発症により、入院まで市川市の街かど健康相談所をデイサービス代わりに利用、生活場所と相談所の送迎支援を実施もあった。今期、入院先病院にて死亡した人は1名であった。

### (5) 葬祭開催事業

・夏祭りおよび新年会の開催。追悼会および葬儀の開催。

\*夏祭り: 2013年8月11日(日) 本八幡公園にて

プログラム; 追悼会、食事(ソーメン・カレーライス・たこ焼き、かき氷・飲物など)、

相談コーナー(医療、生活、法律)、懇親(フラダンス、じゃんけんゲーム、スイカ割り大会、ビンゴゲーム)

路上生活者：15人、ボランティア参加者：102人 計117人を受付

\*葬儀：路上生活者が2名、居宅者が9名亡くなり、以下の通り葬儀を開催

S・Yさん 2013年4月9日 市川八幡神社教会にて、アヒルの会互助会葬儀。53名列席。

K・Yさん 2013年4月12日 市川八幡神社教会にて、ガンバの会お別れ会。56名列席。

I・Tさん 2013年5月16日 市川八幡神社教会にて、アヒルの会互助会葬儀。53名列席。

O・Yさん 2013年7月2日 市川八幡神社教会にて、アヒルの会互助会葬儀。48名列席。

S・Yさん 2013年10月29日 市川斎場にて、職員のみで実施。

N・Kさん 2013年12月23日 市川八幡神社教会にて、アヒルの会互助会葬儀。68名列席。

W・Tさん 2014年1月9日 ガンバ夢塾にて、ガンバの会お別れ会。51名列席。

T・Jさん 2014年3月5日 市川斎場にて、職員のみで実施。

A・Yさん 2014年3月28日 市川八幡神社教会にて、アヒルの会互助会葬儀。52名列席。

## (6) 居宅支援事業

・路上生活者の居宅支援および自立支援住宅入居支援、生活保護申請時の行政交渉支援、借家時の保証人

\*市川ガンバの会自立支援住宅入居者(3名)：(うち2名は新たな住居へ転宅済み)

O・K(生保/保証人)、W・K(自立準備ホーム・生保/保証人)、T・Y(自立準備ホーム・入居中)

\*市川市自立支援住宅入居者(18名)：(うち12名は新たな住居へ転居済み)

O・S(生保/保証人)、Y・M(生保/保証人)、T・Y(自立準備ホーム・生保/保証人)、S・K(掃郷)

H・S(生保/保証人)、O・M(自立準備ホーム・生保/保証人)、T・M(自立準備ホーム・生保/保証人)

T・T(生保/保証人)、W・K(生保/保証人)、M・T(生保/保証人)、T・M(自立準備ホーム/生保)

U・Y(自立準備ホーム・生保/保証人)、N・T(生保/保証人)、H・M(自立準備ホーム・入居中)

K・R(生保/保証人)、S・A(入居中)、O・H(入居中)、H・K(入居中)

\*市川ガンバの会貸付金制度利用居宅(5名)

M・M、N・Y、N・J、N・Y(保証人)、K・M(保証人)

\*その他の居宅者(20名)

K・T(自立準備ホーム利用・生保/保証人)、F・S(自立準備ホーム利用・生保/保証人)

N・H(シェルター利用・セーフティネット/保証人)、E・K(自立準備ホーム利用・生保/保証人)

I・T、I・Y、I・R(市シェルター利用・生保/保証人)、H・Y(シェルター利用・生保/保証人)

S・H(自立準備ホーム利用・生保/保証人)、Y・Y(シェルター利用・セーフティネット/保証人)

K・T(自立準備ホーム利用・生保/保証人)、M・A(シェルター利用・自費/保証人)

S・A、S・A(生保/保証人)、H・H(生保/保証人)、N・H(シェルター利用・生保/保証人)

I・K(シェルター利用・生保/保証人)、T・M、M・F(シェルター利用・生保/保証人)

Y・I(シェルター利用・生保/保証人)

◎2013年度は、合計46名の居宅支援。

・居宅解消支援(逝去、失踪、入所などの理由による保証人としての居宅解消)

\*逝去者；S・Y、O・Y、S・Y、N・K、W・T(以上5名)

\*失踪者；S・S、N・Y、S・Y、K・H、K・F、K・T(以上6名)

\*自主退所；O・Y、M・A、K・T(以上3名)

\*長期入院及び入所者；T・K、Y・I、H・M(以上3名)

## (7) 居宅生活支援事業

・居宅生活における相談、支援

\*訪問：2013年度も居宅者の高齢化等に伴い、通入院支援に時間が取られ、定期的訪問は十分とはいえない。

またボランティアスタッフ5組10名の協力を得て訪問をお願いしており、助けられている。

\***金銭管理**：月1回の管理を含め、現在90名あまりの支援を行っている。金銭管理については、依存症・認知症、障害者の人を主な対象に実施。また支援の中には、銀行ATM利用、家賃代理納付なども含まれる。

\***服薬支援**：アルコール依存、認知症、糖尿病を抱えている居宅者27名を対象に365日実施。

\***事務所での来所相談**：来所での相談、諸支援を実施した。主な相談内容は、服薬、金銭管理、生活相談、自立支援住宅入居面接、就労相談、ボランティア相談、住宅更新相談などである。

◎相談者数記録(居宅者以外も含む) 年間相談者：計13,190名( )内は1日の平均数

	人数		人数		人数		人数
4月	1154(38)	7月	1128(36)	10月	1129(36)	1月	1098(35)
5月	1189(38)	8月	1157(37)	11月	1121(37)	2月	1013(36)
6月	958(34)	9月	1051(35)	12月	1099(35)	3月	1083(34)

\***通入院支援**：単独通院が困難な居宅者を中心に実施しているが、年々増加しており、対応に苦慮している。

・入院/入院支援とともに、身元引受けや保証人同意、手術同意書などの支援を実施。継続的な見舞いやケアカンファレンスへの参加も行った。中には残念ながら、病院で看取りを行うケースもあった。

◎居宅者の入院記録 延べ合計：35名(昨年度：50名)

	人数		人数		人数		人数
4月	2	7月	3	10月	3	1月	2
5月	5	8月	2	11月	1	2月	1
6月	4	9月	5	12月	5	3月	2

\***施設入所支援**：アパートでの独居生活困難となった人の施設入所支援が2ケース実施。

## (8) 居宅生活生きがい支援事業

・居宅後の交流会(ピクニック、食事会、懇親旅行の開催)

\***ガンバ交流会**

11月13日 第36回交流会、市川動植物園。46名参加

1月16日 第37回交流会、サロンにて千葉大学落語研究会による寄席。37名参加

3月24日 アヒルの会互助会総会及び第38回交流会、カトリック市川教会にて開催。参加者61名。

\***ガンバ農園**

登録制で個人参加。参加者は現在4名。農園従事者の協力を得て、6月7日に収穫祭(芋ほり/9名参加)を行った。また利用者同士の意思疎通のために定期的に職員も入った「農園利用者会議」を行っている。

\***泊懇親旅行**

6月14日(金)～15日(土)：西伊豆土肥温泉 計114名参加

\***文化祭(第4回作品展)**

12月3日～12月8日に市川市談話室で開催。265名の来会。

居宅者の手作り作品、短歌や俳句などを展示し、ボランティアの方々の協力のもと、開催。マスコミが取り上げたことにより、全国からの問い合わせがあった。また来会者の感想は好意的なものばかりであった。

\***サロン**(利用時間は10時から3時)

利用時間前からの利用者も多かった。ボランティアの協力を得て、利用者の対応をお願いした。

◎サロン利用記録 ( )内は一日の平均利用人数

	人数		人数		人数		人数
4月	404(19)	7月	469(21)	10月	443(20)	1月	409(21)
5月	445(21)	8月	456(20)	11月	426(21)	2月	436(22)
6月	356(18)	9月	393(20)	12月	385(20)	3月	466(23)

\***互助会のサポート**

世話人会などの招集、互助会入会説明、冠婚葬祭金の支払い、互助会運営などについて、助言などを行った。



3月末時点での互助会員は149名。

## (9)生活困窮家庭の子ども教育支援事業

事業の2年目に入り、徐々に生徒数も増えている。2013年度の延生徒数19名、登録講師ボランティア数16名で運営し、高校受験生5名は無事進学を果たした。

◆夢塾2013年度生徒内訳(3/31 現在退塾者も含む)

学年	小2	小3	小4	小5	中2	中3	高1	合計
人数	1	1	1	5	4	5	2	19名

なお、塾生同士・講師との交流のため、以下の通り、交流会を開催した。

- ・ 8月26日 夢塾夏期交流会(バーベキュー、たこ焼き等) 参加者26名(家族・職員を含む)
  - ・ 12月19日 夢塾クリスマス会(バーベキュー、講師持ち寄り等) 参加者40名(家族・職員を含む)
- また、塾生の対応に苦慮しているとの講師の声があり、学習会を開催した。
- ・ 7月9日 特別学習会(講師; 渡部京太国府台病院児童精神科々長) 参加者22名

## (10) 広報交流事業

・ 路上生活者の正しい理解と会の広報事業としての会報の発行など

6月 NPO市川ガンバの会ニュースレター第21号発行(600部)

特集; 生活困窮者施策とガンバの会

12月 NPO市川ガンバの会ニュースレター第22号発行(600部)

特集; 金銭管理支援の現場から

\*マスコミ取材: 東京新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、市川よみうり新聞、NHK、地域新聞、千葉民報

\*講演 など

- 4月19日 伴走型支援検討会議(大阪)/理事長
- 4月19日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(東京)/理事長
- 5月19日 ホームレス支援全国ネットワーク総会(大阪)/理事長
- 5月20日 伴走型支援検討会議(大阪)/理事長
- 6月8日 共生地域創造財団報告会(仙台)/理事長
- 6月21日 我孫子市立久寺家中学校講演(我孫子)/理事長
- 6月25日 フードバンク千葉設立一周年記念講演(千葉)/理事長
- 6月29日 伴走型支援検討会議(大阪)/理事長
- 7月19日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会及び学習会(東京)/理事長
- 8月3日 伴走型支援検討会議(大阪)/理事長
- 8月30日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会及び学習会(東京)/理事長
- 9月2日 ハマダ基金ケア対価検討委員会(東京)/理事長
- 9月3日 伴走型支援検討会議(大阪)/理事長
- 9月20~22日 伴走型支援士2級認定講座(東京)/資格取得者; 鹿島・守屋・他ボランティア3名
- 9月24日 ハマダ基金ケア対価検討委員会(東京)/理事長
- 9月24日 千葉県立生浜高等学校講演(千葉)/理事長
- 9月25日 寿町の生活支援を考える会講演(横浜)/理事長
- 10月4日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(東京)/理事長
- 11月7日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(北九州)/理事長
- 11月8日 生活クラブ風の村職員研修講演(佐倉)/理事長
- 11月27日 千葉県高等学校人権・同和教育部会講演(千葉)/理事長
- 12月2日 ハマダ基金ケア対価検討委員会(東京)/理事長

- 12月 6日 千葉県立館山高等学校講演(館山)／理事長
- 12月 7日 房総地域福祉実践セミナーパネラー(柏)／理事長
- 12月 21日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(東京)／理事長
- 1月 17日 伴走型支援検討会議(大阪)／理事長
- 1月 27日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(東京)／理事長
- 1月 28日 ハマダ基金パイロット事業報告会発表(東京)／理事長
- 2月 6日～9日 伴走型支援士1級認定講座(大阪)／受講；鮫島
- 3月 7日 日高市民生委員研修(当事務所・夢塾)／理事長
- 3月 25日 ホームレス支援全国ネットワーク理事会(東京)／理事長

**(11) 行政からの委託事業 (市川市・千葉県・法務省)**

**(A) (市川市) 路上生活者の巡回相談指導事業**

1年を通じて、新人との出会いは41名。

◎巡回報告集計；( )内は昨年度出会った人数

	人数		人数		人数		人数
4月	120 (122)	7月	98 (165)	10月	88 (140)	1月	98 (106)
5月	113 (120)	8月	99 (91)	11月	97 (115)	2月	84 (92)
6月	86 (121)	9月	89 (134)	12月	80 (104)	3月	82 (118)

昨年度と比較して、出会った人数は減少している。6月から一ヶ月間の人数が100人を割っている。少人数に時間をかけて「関係づくり」に励んでいるが、アパート入居の意思を持たずに路上生活の継続を望んでいると思われる人が多く、入居支援が難しい。例年通り7月と12月に夜間巡回を実施した。

**(B) (市川市) 自立支援住宅(7部屋)入居者の相談・指導事業**

◎自立支援相談等報告書集計；(2013年度の市川市自立支援住宅利用者18名) ( )は昨年度

	訪問回数		訪問回数		訪問回数		訪問回数
4月	20 (33)	7月	29 (25)	10月	33 (35)	1月	32 (28)
5月	25 (33)	8月	36 (21)	11月	33 (22)	2月	28 (37)
6月	33 (24)	9月	32 (22)	12月	28 (28)	3月	23 (33)

今期も精神疾患を抱えた人やアルコール依存、また法的な課題を抱えた利用者が多く、原則三ヶ月の入居を延長せざるを得ないケースが多く、利用者数は18名に留まった。

**(C) (市川市) 緊急シェルター訪問相談指導事業**

◎報告集計；利用者／18名

	人数		人数		人数		人数
4月	1	7月	3	10月	3	1月	1
5月	0	8月	1	11月	0	2月	1
6月	0	9月	1	12月	2	3月	5

**(D) (法務省) サテライト型更生保護施設事業 (自立準備ホーム)**

今年度19名(前年度継続者うち2名)の更生保護委託を受けた。利用者の状況については次の通り。

・委託人数／委託開始月による(委託延べ日数)

	人数・日数		人数・日数		人数・日数		人数・日数
4月	2 (35)	7月	1 (86)	10月	2 (74)	1月	0 (0)
5月	2 (63)	8月	0 (0)	11月	1 (42)	2月	1 (20)
6月	4 (219)	9月	4 (203)	12月	1 (1)	3月	1 (28)

・委託後状況

生保申請アパート居宅	14名	総合福祉貸付での居宅	0名	住込み就労	2名	契約解除(帰郷・退所)	2名
------------	-----	------------	----	-------	----	-------------	----

現在利用中：1名

**(12) 介護事業**

訪問介護事業所「がんばさぼーとほーむ絆」を開設して2年が経過。これまで880万円を立ち上げ費用として

支出したが、2年が経過して、ようやく採算ベースに乗り、黒字化してきた。居宅者の高齢化に伴い、介護が必要な人が増えているということであるが、何より事業所と事務所との中で情報共有ができ、より豊かな支援ができることが最も嬉しいことである。入院や逝去により利用者人数が変動するものの、地域からの利用者も3名あり、地域の方々の利用も今後の鍵となる。なお、現時点での利用者は28名である。

### (13) 墓地運営事業

多くの方々の寄付をいただくことができ、総工費約525万円で墓地建設を終えることができた。2013年度の活動・事業は次の通り。

- ① 建立納骨式；9月5日(木)午後1時より梨香の郷霊園において開催。天候の関係で当初予定していたプログラムを変更し、記念建立式を先に行い、市川市長 大久保博氏(代理；山崎福祉事務所長)、社会福祉法人一路会理事長 田上昌宏氏より祝辞をいただいた。その後、多くのマスコミ取材の中、第一回の納骨式を行い、7名の方の納骨を行った。当日はマイクロバスを一台チャーターし、参加者は49名を得た。
- ② 生前予約受付；墓地管理・運営規定に基づき、9月より墓地利用の生前予約の受け付けを開始した。3月末現在で、申込者は54名である。

### (14) その他の事業

#### ① 会員／職員研修

- ・ 9月4～25日(各水曜) 第6回ボランティア要請講座を開催(全4回／受講者7名)
  - ・ 9月20～22日 伴走型生活支援士2級認定講座(東京) 受講者；鹿島、守屋／以上職員  
高田、本荘、加瀬／以上ボランティア
  - ・ 2月6～9日 伴走型生活支援士1級認定講座(大阪) 受講者；鮫島
- この他、職員全体会議(月1回開催)などで事例検討や新法の学習など、内部研修を実施。

#### ② 行政交渉、行政協力(路上生活者個人の支援策定のケア会議は、頻繁に実施されているので明記せず)

- ・ 4月15日 ガンバ・福祉合同会議(以後月一回の開催)

#### ③ 新規事業のための委員会

##### ☆就労事業立上げ委員会

生活困窮者自立支援法の成立(2015年春より施行)に伴い、社会的(中間的)就労のための事業立上げのための委員会を事務所職員3名で、10月より月一回、開催した。

具体的には、日本ファイバーリサイクルが生活クラブのベイセンター(市川)で2014年度中に古着のリサイクル事業展開を始めるのにもない、古着の選別協力さらに独自のリサイクル店の展開、さらには2014年7月に開所予定のケア付きアパート(きなりの街すわだ)の清掃委託に伴う就労員の確保などが考えられている。

##### ☆ケア付き住宅委員会

2014年7月に開所予定のケア付きアパート(きなりの街すわだ)の24時間見守りのための体制作りや、入居候補者の選定などのために、委員会を事務所職員3名で、10月より月一回、開催した。

#### ④ 民間委託事業及び民間団体協力

☆ハマダ基金パイロット事業；2013年3月で委託事業は終了したが、生活困窮者が地域に定着するためにどのようなサポートが必要であったか、またその時間などの分析が進められ、その報告会準備のために調査協力を行ってきた。なお、報告は2014年1月28日に、東京で開催された。

☆きなりの街すわだ運営会議；2013年5月で終了した「市川ケア付き住宅準備委員会」に代わり、9月より「きなりの街すわだ運営会議」が開催されることになり、当法人からは副田理事長、鮫島太、鹿島美紀子、鎌田、悠介が出席、具体的な運営についての協議を行った。

なお、この住宅はオーナー協力で新築であり、これを生活クラブが借上げ(リースバック方式)、24時間見守り事業を当法人が運営委託を受ける形で事業展開予定である。開所予定は2014年7月、入居定員は12名、建物内部に居宅介護事業所、地域交流スペースなどが入る予定である。

第8号議案 2014年度会計予算承認の件

[一般会計]

自2013年4月1日 至2014年3月31日

(単位:円)

勘定科目	2013予算額	2013決算額	2014予算額	予算増減	摘要
<b>I 収入の部</b>					
1. 会費収入					
会費収入	570,000	669,000	620,000	50,000	
2. 寄付金収入					
寄付金収入	5,800,000	11,418,401	5,000,000	-800,000	
3. 交付助成金収入					
交付助成金収入	4,000,000	3,827,617	5,000,000	1,000,000	
4. 特別会計受入額					
自立準備ホーム会計受入	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
介護事業会計受入額	0	0	1,000,000	1,000,000	
特別会計受入額計	4,000,000	4,000,000	5,000,000	1,000,000	
5. 委託事業収入					
中核センター派遣事業収入	1,630,000	1,534,332	1,304,000	-326,000	
ケア付き住宅委託事業収入	0	0	3,600,000	3,600,000	
委託事業収入	1,630,000	1,534,332	4,904,000	3,274,000	
6. その他の収入					
生活支援事業	570,000	640,948	650,000	80,000	
その他の収入	500,000	865,896	850,000	350,000	利息を含む
その他の収入計	1,070,000	1,506,844	1,500,000	430,000	
当期収入合計	17,070,000	22,956,194	22,024,000	4,954,000	
前期繰越収支差額	28,135,263	28,135,263	36,661,649	8,526,386	
収入の部合計	45,205,263	51,091,457	58,685,649	13,480,386	
<b>II 支出の部</b>					
1. 事業費					
路上生活支援事業費	10,000	0	10,000	0	
シェルター事業費	700,000	603,672	1,100,000	400,000	新シェルター1室増加及び更新料
入院支援事業費	10,000	0	10,000	0	
葬祭開催事業費	10,000	8,980	10,000	0	
居宅支援事業費	120,000	146,826	140,000	20,000	
広報交流事業費	400,000	575,815	600,000	200,000	
生活困窮家庭支援事業費	3,000,000	3,241,858	3,600,000	600,000	夢塾更新料含む
新事業準備研究調査費	1,000,000	77,030	200,000	-800,000	
人件費	0	0	4,540,000	4,540,000	
法定福利費	0	0	600,000	600,000	
通勤費	0	3,600	70,000	70,000	★管理費から事業費へ
交通費	120,000	27,864	50,000	-70,000	★管理費;交通費統合
通信費	120,000	123,964	280,000	160,000	★管理費;通信費統合
研修費	220,000	128,260	220,000	0	伴定型生活支援士認定研修会等
車輛維持費	20,000	0	20,000	0	
保険料	30,000	6,220	30,000	0	
雑費	5,000	0	5,000	0	
事業費計	5,765,000	4,944,089	11,485,000	5,720,000	
2. 管理費					
人件費	2,941,420	1,666,857	3,033,600	92,180	
法定福利費	302,000	248,986	400,000	98,000	★事業費と分割
福利厚生費	120,000	72,070	100,000	-20,000	職員健康診断
賃借料	542,000	290,190	309,000	-233,000	
水道光熱費	20,000	1,725	20,000	0	
交通費	20,000	810	0	-20,000	★事業費へ統合
通信費	100,000	136,026	0	-100,000	★事業費へ統合
消耗品費	150,000	93,034	200,000	50,000	
リース料	75,000	119,700	0	-75,000	夢塾複写機;生活困窮家庭支援費へ。
印刷費	20,000	9,180	20,000	0	
会議費	80,000	54,171	80,000	0	
租税公課	415,000	553,300	500,000	85,000	消費税
支払手数料	157,500	157,500	162,000	4,500	
雑費	50,000	67,375	70,000	20,000	振込み手数料を含む
法人税等	70,000	70,000	70,000	0	
管理費計	5,062,920	3,540,924	4,964,600	-98,320	
3. 特別会計繰入額					
退職給与引当金	120,000	120,000	150,000	30,000	
就労支援事業会計繰入額	0	0	5,000,000	-5,000,000	
絆再生事業会計繰入額	150,000	273,795	370,000	-220,000	
墓地運営事業会計繰入額	4,700,000	4,700,000	0	-4,700,000	
特別会計繰入額計	4,970,000	5,093,795	5,520,000	550,000	
4. 固定資産取得支出					
固定資産取得支出計	400,000	350,000	0	-400,000	車両取得支出
5. 助成金返還支出					
助成金返還支出計	500,238	501,000	0	0	[家賃分配基準]
6. 予備費					
予備費	17,797,132	0	36,716,049	18,918,917	一般会計;事務所分/13,000円 総会計;サロン・相談室分/157,000円
支出の部合計	34,495,290	14,429,808	58,685,649	24,190,359	市委託会計;事務所分/30,000円 介護事業会計;事務所分/30,000円
当期収支差額	-17,425,290	8,526,386	-36,661,649	-19,236,359	
次期繰越収支差額	0	36,661,649	0	0	

## 団体要件・事業要件確認シート

### ◆確認事項

団体要件	<p>以下の項目について、該当する□にチェックをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 市内に事務所を有し、主として市内において活動をしている</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 規約、会則、定款等を有している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 申請の提出時において、1事業年度以上継続的な活動の実績がある法令、条例等に違反する活動をしていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 公序良俗に反する活動をしていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするもの）を行うことを主たる目的とし、営利を目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 団体又は構成員が暴力団等に該当していない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない</li> </ul>
事業要件	<p>以下の項目について、該当する□にチェックをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において実施するもの</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野のもの</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 市民を主たる対象としている</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 支援金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない</li> </ul>

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が市川警察署に照会することに同意します。

団体名 特定非営利活動法人ホームレス自立支援市川ガンバ

代表者（職・氏名） 副田 一朗

